

広 報

ふじがわ

3月号

昭和55年3月20日発行

No. 224

町のメモ

昭和55年3月1日現在

人口	16,964人
増減	+ 19人
男	8,440人
女	8,524人
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



町の今年
の目標
「きれいな町に
しましょう」

3町待望の クリーンセンターが稼動

(表紙のことは2ページに)

町の80年代を思考した環境づくりに

19億1,230万円でスタート

昭和55年度一般会計予算

農免農道工事

社会福祉協議会の新設を主体に

町議会の3月定例会は、3月10日(月)午
前9時から議場で開催され、常葉町長の昭和
55年度重点施策の報告を皮切りに、昭和55年
度一般会計予算、国民健康保険、土地取得・
水道事業の各特別会計予算や、昭和54年度一
般会計補正予算など、十六議案が審議され、
すべて原案どおり可決されました。

昭和55年度一般会計予算は十九億一千二百
三十万円で、前年度当初予算より一億八千三
十万円、一〇・四割の伸びとなっています。
国民健康保険特別会計予算は、医療費の自
然増および引き上げを見込み、三億三千二百
九万円となります。

土地取得特別会計予算は、昭和45年に設定

した土地開発基金一千八百万円を財源とし、
公共用地の先行取得をすすめるため増設した
もので、昭和55年度は三千八百万円となりま
す。

水道事業特別会計予算は、四年目を迎える
第二次拡張事業を主体に一億五千三百二十万円
となります。

昭和54年度一般会計補正予算は、中央公民
館建設基金、土地開発基金、財政調整基金へ
の積立を主体に一億五千四百四十万円を補正
し、予算総額は二十億九千三百五十九万円と
なります。

なお、昭和55年度重点施策、一般行政報告
一般会計予算の内容は、次のとおりです。

55年度の重点施策

◇生活水準を高め安全のための施設づくり
昭和55年度は、投資的事業の抑制の中で、生活環境の水準をいかに高めるかということになると、現在の施設の維持・改良が主体になります。そのため細かい単独事業をできるだけ取り上げることを中心に、都市下水路の新設改良、河川敷やがけ地の防災工事等に力を入れていきます。また、交通渋滞解消を目指した生活基幹道路網整備のための継続事業として、上町吉津線等のバイパスの促進、富士川右岸堤防の道路化のための予算化等、将来に向けての道路整備計画の予算化を行いました。

地震対策については、耐震性防火貯水槽、可搬式動力ポンプ、自主防災組織補助金等、継続事業のほかに、自主防災組織備蓄倉庫、資機材整備補助金、広域避難場所の整備等、県費補助を中心としていますが、現在作成中の地震防災強化計画により、計画的な事業の推進をはかります。

◇農林業基盤事業の推進と活力のある商工業の振興
継続事業である農免農道・吉津金丸線を合わせての予算額は、一億二千八百万円となり、全体計画を急ピッチで進めていきます。

等、今後、住民のみならずのご理解とご協力が必要になります。
◇80年代に向けて調和のとれた町づくり
市街地や住宅地の生活水準の向上のため、下水路整備、交通・地震に対する安全対策、緑化推進、富士川河川敷のスポーツ公園化、点在する遊休地の効率的利用を行います。

松野地区および山地の開発については、将来を展望し、教育文化

を中心と調和のとれた開発を進めるための調査費や政策推進のための予算づくりを行いました。
◇コミニティづくり
昭和55年度は、第二小学校グループ建設工事を予算化しています。社会教育・体育施設では、文化財施設整備・地区公民館建設補助金的大幅引き上げ、河川敷テニスコート、富士川緑地公園整備事業等、コミニティの場の拡大をはかっています。

一般行政報告

◇健康で清潔な町づくり
結核・ガン集団検診等の推進、共立浦原総合病院の大築窠移転にともなう取付道路の用地買収、公害測定機の充実等、住民のみならずの健康管理の予算づけ、側溝改良・こうぶた工事の計画的な推進、緑の町づくりの一環として、生垣づくりの制度を新設します。

◇「野田山健康緑地公園」構想
八〇年代の余暇時代の先取りと山間地の土地利用を合わせたこの構想は、1月上旬に中間報告がな

◇東海地震に対する対応は
東海地震の地震防災対策強化地域にかかる防災基本計画が示されそれぞれ自治体において計画書の策定が義務づけられました。

◇山砂利採取事業の完了について
東海企業が2月9日付けで、山砂利採取事業の工事完了届を提出しましたので、町土地利用委員会において、町との協定書および指

され、近く最終報告がされる予定ですが、二一世紀の富士川町を展望する時、緑の拠点としても、ぜひ計画の実現をはかっていきたいと考えています。

◇富士川橋架替促進期成同盟会の早期結成
関係市町に期成同盟会参加を要請すべく「富士川橋架替促進期成同盟会結成趣意書」の草案をし、2月27日、富士市担当部長とともに、身延・南部・富沢の山梨県三町、芝川町、由比町、蒲原町、それに富士宮市を訪問し、願意を伝えてきました。いずれの市町においても、積極的参加の意向を表明していただきました。ことに、南

部・富沢・芝川の三町では、富士川橋の渋滞を身をもって体験している町民が多いため、地域懇談会でも話題の筆頭にあがるなど、われわれ地元同様、いや、それにも増した、富士川橋を中心とした交通対策を望む声が高いことを訴えられました。

◇行政改革の推進について
行財政運営の効率的対処が迫られている時でもあり「事務事業の見直し・行政機構の簡素合理化・定員管理の適正化」を骨子とし、本年度は十分内部検討を重ねて対応でき、諸問題に対応できる行政システムの展開をはかっていきたいと考えています。

◇「野田山健康緑地公園」構想
八〇年代の余暇時代の先取りと山間地の土地利用を合わせたこの構想は、1月上旬に中間報告がな

◇東海地震に対する対応は
東海地震の地震防災対策強化地域にかかる防災基本計画が示されそれぞれ自治体において計画書の策定が義務づけられました。

◇山砂利採取事業の完了について
東海企業が2月9日付けで、山砂利採取事業の工事完了届を提出しましたので、町土地利用委員会において、町との協定書および指

され、近く最終報告がされる予定ですが、二一世紀の富士川町を展望する時、緑の拠点としても、ぜひ計画の実現をはかっていきたいと考えています。

◇富士川橋架替促進期成同盟会の早期結成
関係市町に期成同盟会参加を要請すべく「富士川橋架替促進期成同盟会結成趣意書」の草案をし、2月27日、富士市担当部長とともに、身延・南部・富沢の山梨県三町、芝川町、由比町、蒲原町、それに富士宮市を訪問し、願意を伝えてきました。いずれの市町においても、積極的参加の意向を表明していただきました。ことに、南

部・富沢・芝川の三町では、富士川橋の渋滞を身をもって体験している町民が多いため、地域懇談会でも話題の筆頭にあがるなど、われわれ地元同様、いや、それにも増した、富士川橋を中心とした交通対策を望む声が高いことを訴えられました。

◇行政改革の推進について
行財政運営の効率的対処が迫られている時でもあり「事務事業の見直し・行政機構の簡素合理化・定員管理の適正化」を骨子とし、本年度は十分内部検討を重ねて対応でき、諸問題に対応できる行政システムの展開をはかっていきたいと考えています。

表紙のごとく

昭和53年12月建設工事に着手した、庵原郡民待望のゴミ焼却場「富士川クリーンセンター」(管理者「常葉雅文富士川町長」)が、本年2月20日落成式を迎えました。

同センターは、当町中之郷小池下に建設され、約九千九百平方メートルの敷地に鉄筋コンクリート造り(一部鉄骨造り)のゴミピット、焼却炉などが入った工場棟のほか、作業員詰め所、排ガス処理設備などの施設と、敷地の三分の一以上に当たる約三千七百平方メートルの緑地公園からなっており、総事業費は九億一千二百五十二万円で、同センターに導入された流動床式焼却炉は県下では初めての採用で全国でも三カ所しかない最新鋭の設備です。さらに、公害対策にも力を入れ、排ガス関係では、炉ごとにサイクロン電気集じん機をとりつけ、ばいじん、亜硫酸ガスを抑え、クロロスドシステムを採用し排水処理を行うほか、悪臭防止のため自動ドア、エアカーテンをとりつけています。

◇婦人との対話を今後の町政へ
婦人のみならずがたに町政の姿勢を理解してもらおうと同時に、町への積極的な提言、提案をいただくよう、2月13日から町内六会場で婦人との集いを行いました。現在、この集いのまとめを行っています。教育、家庭教育等、婦人のきめこまかな提言もあり、今後の町政を推進するうえで、十分参考にしていきたいと思えます。

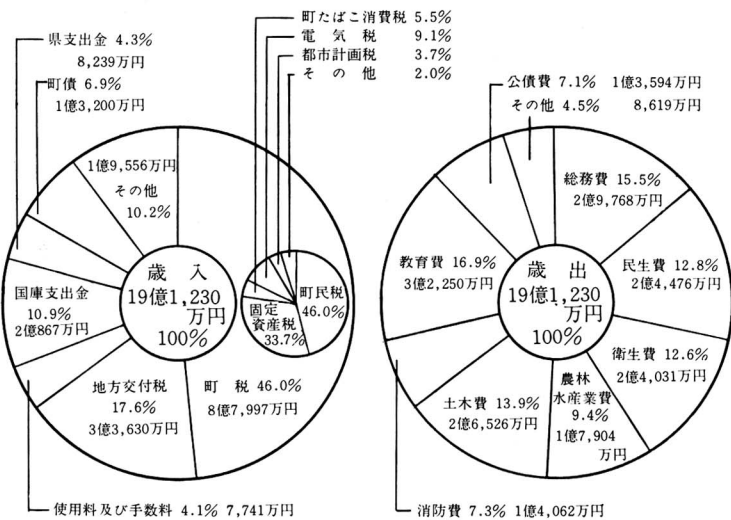
◇将来を展望した開発事業
共立浦原総合病院移転用地対策企業誘致・女子短大誘致対策と、開発事業が目白押しです。

◇行政改革の推進について
行財政運営の効率的対処が迫られている時でもあり「事務事業の見直し・行政機構の簡素合理化・定員管理の適正化」を骨子とし、本年度は十分内部検討を重ねて対応でき、諸問題に対応できる行政システムの展開をはかっていきたいと考えています。

一般会計予算の内容

昭和55年度当初予算編成は、
① 経常的経費については、石油類の値上げによる物価の上昇が予想されるので、さらに節減合理化に努め、投資的経費とあわせ、その規模を抑制する
② 現下の厳しい財政事情の中では住民のみならずの生活水準を向上させるため、単独事業を重点的に取上げるとともに、八〇年代の第一歩としての長期的視野に立った計画を反映させる
③ 財源の重点的かつ効率的配分をはかるため、既定経費の見直し人件費の抑制および公共料金の適正化をはかる
を基本方針として行います。

昭和55年度 富士川町一般会計予算図



総務費に 二億九千七百六十八万円

- ◇ 広報無線施設工事費に (木島・小山・上町・幸町他) 三百七十五万円
- ◇ 富士川町社会福祉協議会事業補助金に 一千万円
- ◇ 老人医療・町単独老人医療扶助費に 四千二百六十三万円
- ◇ 児童手当に 二千五百八十万円

土木費に 二億六千五百二十六万円

- ◇ 室野谷止工事に 三千三百三十六万円
- ◇ 公共吉津小山線・四十九線改良工事、上町吉津線新設改良工事、原方池野線突角改良工事、富士川右岸堤防道路舗装工事他に 七千四百五十万円
- ◇ 幸町大築線用地取得費に 二千九百六十二万円
- ◇ 小池沢、中河原川改修工事他に 六百五十万円
- ◇ 新町都市下水路工事に 三千六百万円
- ◇ 川坂・東町六号水路改良工事、旭町都市下水路マンホールかさ上げ工事、都市下水路サイホン浚渫工事、町道横町湯沢線側溝改良工事、谷津水路改修工事に 二千二百万円
- ◇ 富士川第一公園用地買収費に 一千四百万円

消防費に一億四千六十二万円

- ◇ 消火栓新設工事、耐震防火水槽築造工事、常設消防所移転にもなり第二分団消防車庫改築工事、第二分団消防車庫新設工事に 二千四百二十万円
- ◇ 第二分団車庫新設工事にもなり用地取得費に 一千百万円
- ◇ 可搬式小型動力ポンプ購入費に (五台) 四百六十六万円
- ◇ 自主防災組織補助金、自主防災組織整備事業補助金他に 四百九十八万円

教育費に 三億二千二百五十万円

- ◇ 二小プール建設工事に 四千三百万円
- ◇ 二小プール用地購入費に 一千四百万円
- ◇ 災害復旧費に 一千五百七十二万円
- ◇ 松野内房線、峰山線道路災害復旧工事に 一千三百六万円

農林水産業費に 一億七千九百四万円

- ◇ 農免農道新設工事、木島・谷津排水路工事に 一億四百九十五万円
- ◇ 幸町・南松野かんがい排水路工事、吉津小山・中之郷・南松野原方池野農道舗装、農免・四十九農道工事他に八百七十五万円
- ◇ 公共吉津金丸線開設工事、木島

本年4月からシ尿汲取料金が一円につき八円(現行六円)に改定されます。
あいつぐ諸物価、公共料金の高騰の折、みなさんには、ご負担をおかけいたしますが、今回の改定は、シ尿を処理する衛生プラントの投入手数料が二円アップしたことによるスライド分です。すでに、3月全員協議会で議員のみなさんの了承も得ております。
みなさんにおかれましても、町の事情をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。
富士川町長 常葉 雅文

環境汚染は

避けえない都市化の現象か 「富士川町の環境」より

環境衛生課より2月下旬、富士川町の「公害白書」ともいえる「富士川町の環境」(54年度版)が発行されました。これにより昭和53年度中に、みなさんから受けた苦情件数を見ると、大気汚染二件、水質汚濁二件、騒音・振動・悪臭十件と、大気汚染、水質汚濁といった代表的な公害に対する苦情が減った反面、騒音・振動・悪臭など感覚的、心理的被害をとまらぬ苦情が増加しています。また、発生源をみると、最近の特徴として、大気汚染は家庭用焼却炉のばい煙に、水質汚濁は家庭排水に、騒音・振動は新興住宅地にと、従来の主な発生源であった工場、事業所から身近な環境に変わってきています。

そこで、今日の広報「ふじかわ」では、町で今、問題となっている公害について「富士川町の環境」の中から紹介してみます。

排気ガスにより 空気が汚染

庵原郡といえは、以前はすぐッ化水素公害が上げられましたが昭和46年から庵原三町と県が防止対策を積極的に進める一方、企業側も公害防止計画に基づき防止対策を行った結果、環境濃度も減少し、今では植物などに影響をおよぼす被害範囲も、小池下付近だけとなり、その他の地区では梅の花も咲くようになりました。

これに反し、現在問題となってきたのが、自動車の排気ガスを主要発生源とする窒素酸化物と、大気中を浮遊するホコリ(浮遊粉じん)です。まず、呼吸器系の気管、肺への障害があるといわれる窒素酸化物は、年間を通して夏より冬の方が濃度が高く、一日のうちでは自動車の通行量が多い午前6時から10時、午後5時から10時の間が高くなっています。この窒素酸化物の

濃度を、町内の国道一号线、県道富士川身延線の各主要交差点で測定したところ、町立第一中学校測定局で一日平均値の最高値が〇・四四五ppm(基準では〇・〇四から〇・〇六ppm以内であるかまたはそれ以下)であったのに対し、国一の各交差点では、その二倍以上、富士川身延線では、大型車の交通量の多い交差点で、その一・五倍以上となっています。町内の各交差点の濃度の高い順位は――

- ① 旭町交差点
- ② 本通り・静銀前交差点
- ③ 富士川駅前交差点
- ④ 富士川橋交差点
- ⑤ 町立第一中学校前交差点
- ⑥ 幸町・本州製紙入口交差点
- ⑦ 町立第二小学校前交差点
- ⑧ 小山作業所横交差点
- ⑨ 秀村医院横交差点
- ⑩ 南松野バス停横交差点
- ⑪ 半在家・塩川商店横交差点

つぎに、肺への付着が高い物質として知られている浮遊粉じんは52年度の測定値に比べ、大幅に減少していますが、役場・第一中学校測定局とも環境基準より高い数値を示しています。
特に第一中学校測定局の測定結果は、県下で六番目に高い数値となっています。

新幹線については、延長二千二百の防音壁設置や八十ホン以上の騒音地区の家屋に、二重サッシや

富士川の汚濁は 家庭排水が原因

各企業には、昭和47年から「奥駿河湾水域にかかる上乗せ排水基準」が適用されているため、工場排水による河川汚濁は減少しました。しかし、53年度に行った富士川水質調査によると、北松野蓬来橋でBOD(生物化学的酸素要求量)〇・〇九ppm(基準では二ppm以内)国一富士川橋で一・一ppmであったのに対し、富士川河口になると一・一ppmと、非常に高い数値を示しました。
富士川河口で十ppm以上になるのは、何が原因しているのでしょうか?それは、みなさんの家庭からの生活排水です。ここで参考のため、都市下水路や各河川の汚濁状況を記しますと、新町・本通り都市下水路で平均四十三ppm有無瀬川で七ppm、田中沢川・小池川で六ppm、山田川で五ppm、中河原川で四ppmとなっています。この機会に、私たちも家庭排水について、もう一度見直してみましよう。

騒音・振動は 新興住宅にも広がる

新幹線については、延長二千二百の防音壁設置や八十ホン以上の騒音地区の家屋に、二重サッシや

「富士川町の環境」をあなたにも

みなさんの中で、もっと町の公害問題を知りたいという方はいませんか。環境衛生課では、ちょっとした公害についてのアンケートに回答してくれた方に、今回発行した「富士川町の環境」(54年度版)を進呈します。希望者は、役場環境衛生課に連絡ください。

「早くも」のバイパス

早期実現のために住民の総意を

県道富士川身延線バイパスは昭和50年10月馬坂トンネルの工事着工以来、大北地区の工事開始、木島地域の全面開通、浅間林遺跡発掘のための用地買収など、年々進んでいます。しかし、低成長が定着しつつある現在、県は前年度の実績に基づいて予算を配分するので、予算獲得の陳情をいくらしても、実績が上らなければ、予算の大幅な増を望むのは困難となってきたうえに、バイパス建設に対する

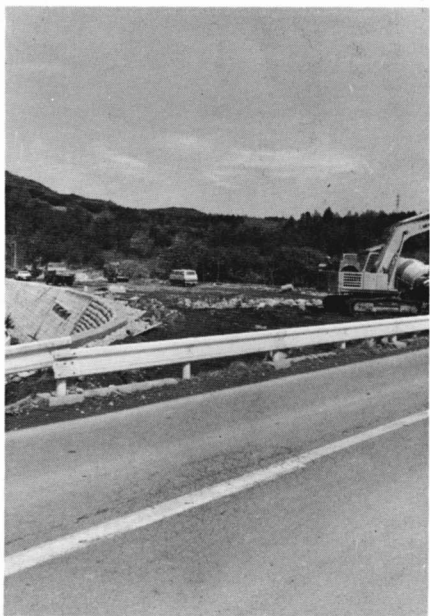
るみなさんの当初の盛り上った関心も、年とともに薄らぐ中で、県道には相変わらずダンプトラックが激しく行き交い、みなさんの生活に慢性的な支障をきたしています。このようなことから、バイパス問題を地域の問題として、みなさん一人ひとりがその必要性について再考してみることが必要ではないでしょうか。

現在までの経過

坂下・舟山地区は地元説明会の後、移転対象者との話し合いに入り、吉津・坂下地区などに約二十件が移転しましたが、移転地や商店の生活基盤確保などの問題から一部の方からは同意がいただけませんでした。また、一方ではバイパスが現道と並行して計画されたため、沿線の住民から「この路線では公害はなくなるらない、環境を守るため用地の交渉は中止すべきである」との旨、陳情がされるに及び、計画は暗礁に乗り上げた形になり、以後は数軒の移転を実施したにとどまっています。

松野地区では49年から、地区別の説明会、県へ要望書の提出細部測量の実施と進み、翌50年に用地買収、52年初めから、大北—蓬来橋間の工事に入り、現在も施工中です。しかし、それ以後の用地交渉が難行し、馬坂トンネルの工事に予算が投入されたこともあって、一時沈滞し、54年になって、バイパス建設に伴い調査が必要となる、浅間林遺跡の埋蔵地区を中心に用地の買収を再開、今後細部測量未実施であった馬坂トンネルから丸崎地区を含め、全路線開通を目指していきます。

木島地区では50年初め、路線決定について地元から強い要望があり、説明会、測量、地域の要望などを通し、終始、地元が一致してこの問題に当たったため、52年2月には県との用地買収計画が成立、同年11月には馬坂トンネル工事着手というスピードで進み、54年3月には開通しました。



北松野蓬来橋付近のバイパス工事

なぜバイパスなのか

昭和40年代当初から高度経済成長の波にのって、県道富士川身延線に流入した車輛台数は、最高時一日に九千台を超え、このうち四千台以上が砂利運搬用の大型ダンプカーでした。このため道路沿線には、交通公害が発生、排気ガスによる大気汚染をはじめ、粉じん騒音、振動と生活に支障のあるありとあらゆる被害が出たのです。

この問題は、国道一号線と交差する坂下・舟山地区において表面化、これではたまらないという住民の声とともに、町も県・国へ新

県のバイパス計画は

地域住民の意向を受けて、県が打ち出したバイパス計画は、次のようなものでした。

設道路の建設を希望、46年にはバイパス計画が打出されたのです。また、松野地区においても、47年に県道における交通事故が多発したと相まって、地域住民のバイパス建設要望の熱が高まり、強い働きかけの後に、バイパス計画が成ったのでした。

当時からバイパスを作ることによって、住民の日常生活を守ることが絶対必要だったのです。

完成までの問題点

バイパスについて、今までの経過と将来的な見通しに立って考えた場合、次の問題点があります。

住民の強力なバックアップ

すべての公共事業についていえることですが、地域住民の賛意と協力がなければ、事業は進みません。このバイパスについても、地域からの要望によって建設計画が生まれてきたことを、もう一度、思い起こすことが必要ではないでしょうか。計画さえできれば、いつかバイパスも完成するという、第三的な見方は、直接建設用地にかかる当事者からみれば、何か割り切れないものを感じますし、ひいては用地の買収を難しくする一因となっています。どうしても代替地を必要とされる方に、地域で搜したり用意することにより、地権者も安心して協力できることになりません。

また、一方では、バイパスによって、新たな公害などの不安を募らせている方もいるでしょうが、坂下・舟山地区にみられるように歩道もなく、通行や横断に絶えず危険があるうえに、慢性的な渋滞をこのままにし、ただダンプのみ河川敷を通過させるといふ現状維持では、問題の解決にはなりません。

現在の生活をよりよくするための環境整備と、より広範な公共性に基づいて計画されたこの道路には、三軒の歩道とグリーンベルトなどの施設があることも注目すべきではないでしょうか。

要はみんなが、バイパス建設に関心を持ち、完成までの過程で、便利で使いやすい道路とするため知恵を絞ることにあります。もちろん町では、地域の意向をこの事業の中で十分生かすために全力をあげて努力します。県でも、この路線を県下の重要路線の一つとして力を入れていきますので、地区の集りや建設促進期成同盟などにおいて、今後一層、地域ぐるみの活動を盛り上げましょう。

実績による予算づけ

現在までのバイパス建設には、昭和47年以降、十八億円余りの巨額の資金が投資されています。この内、完成済みの木島—馬坂トンネル間に約十四億円(50年度から53年度)かかっています。道路の建設は、短期間に予算を投入し、用地の買収、工事の施行と一気に進めば理想ですが、限りある財源の中で、これは非常に困難なことです。まして、予算をとりまく社会的状況は、経済の低成長、総需要抑制、予算の見直し等と、年々厳しいものとなってきています。国および県費で行われる、このバ

イパス事業を、より早く完成させるためには、予算配分を少しでも多く受け、この実績のもとに予算の上乗せをはかるようにしなければなりません。県下では、このバイパスと同様に、ぜひ必要とする工事が数多くあります。地域に協力体制がなければ、予算は己ずと他の方へ投入されることになる訳です。

55年度には、大北—蓬来橋間の開通、浅間林遺跡の発掘が見込まれています。その後の建設をス

早くバイパスが欲しい

ダンプカーが砂じんを舞い上げ、ごう音をとどろかせて通過して行く、県道富士川身延線沿いに住むみなさんから、この環境をどう思い、バイパスに何を期待するか聞いてみました。



和泉ため子さん (八幡町)

この県道は、朝早くから大きな音でダンプが通過するものから、カゼなどひいて寝ている、とても休まりませんよ。夜は夜で大きなトラックが通るしね。それに、子どもを学校にやるのが、とつても心配です。

将来への見通し

バイパスの建設は、交通公害をなくすことから出発していますが、松野地域や岩淵地域のみならず、町全体を長期的に見通した場合、

子どもたちはダンプの音がする、と、ダンプはまだ遠くの方にいる、道路のすみに小さくなっていくんですからね。

ですから、家族でいつも「早くバイパスができれば、この辺も静かになっていいのにね」なんて話しているんですよ。



天野清一郎くん (大北町)

ほとくの室は県道から少し離れているので、勉強にはあまり支障はないんですけど、母屋でテレビを見ていると、ひっきりなしにダンプが通って、テレビの音声がよく



吉田しずるさん (大北町)

雨が降ったりすると、ダンプが通るたびに、道路沿いのガラス戸が泥で汚れて大変だね。道路のきわの家はどこでもそうでしょうがね。ダンプは朝早くから走っているもので、何かの用で、私の家にお客さんが泊ったりすると、ダンプやトラックの音で、一晩中眠れないみたいだね。早く向にバイパスができればね——。



私たちは、毎日の暮らしの中で肉や魚、野菜などの食料品をはじめ、日用品や衣料品などいろいろな「もの」を買っています。「もの」ばかりではありません。私たちは「サービス」も買っています。たとえば、クリーニング代や美容料などありますが、それ「もの」ではありませんが、私たちの普段の暮らしには欠かせません。

ところで、これら「もの」とか「サービス」には、それぞれ値段（価格）がついていて、高くなったり、安くなったりします。このような値段の動きについて、たとえば鉛筆、ミカン、パーマネット代といった個々の「もの」や「サービス」の価格が去年に比べてい

物価と価格のちがいを

かしこい消費者コーナー

くら高くなったとか、安くなったとかは、だいたい分かります。しかし、鉛筆の値動きは分かっても、文房具全体、あるいは果物全体、理容衛生関係全体の動きについては、そう簡単には分かりません。また、文房具や果物はもちろん野菜、衣料品など、私たちが生活するために買った「もの」や「サービス」の値段が全体として、去年と比べてどう変わったか、その結果、家計にどんな影響をおよぼしているかについても、そう簡単にはつかみきれません。たとえば、去年と比較し、ミカンは値上がりしたが、カキやリンゴなどが安かったので、果物全体としては値下がりした、という場合もあり



消費生活コーナの一コマ

お母さんたちの作品がいっぱい 婦人会館まつり

昭和54年度一年間の婦人会活動の成果をみなさんに披露しようと富士川町婦人会（深沢千代子会長）が、婦人会館まつりを3月9日婦人会館で開きました。

同会館は、町の婦人層の文化、教養向上のための活動拠点と、四年前に設置されたもので、現在では、日本画、茶道、編み物、書道、舞踊など、婦人の学習の場として、積極的に利用されています。

当日は、会館内に会員が作り上げたエプロンや洋服、日ガサ、書道などの作品がきれいに展示されていました。

また、県で行った「消費者リサーチ養成講座」の受講生を中心に今年発足したばかりの消費生活研究部は、全国的に問題となっている合成洗剤や食生活を見直すコーナーを設け、全婦人会員を対象に2月中旬行った「合成洗剤の使用量調査」の集計結果を基に、来館者に合成洗剤の正しい使用を守る必要性を訴えたり、成人病を予防し健康な暮らしをするために、パランスのとれた食生活の推進を呼び掛けていました。

さらに、同館入口では、益金でゴミカゴを町へ贈る、不用品の即売会も開かれ、早朝からの雨にもかかわらず、お母さんたちの作品を見ようと、町をあげての婦人のお祭りは、終日来館者でにぎわっていました。

リズムあれこれ (その三)

今日はふとんの上でできる「目覚ましトリム」を紹介いたします。

夜型人間が増えてくると、洗面身仕度、食事などの時間が切りつめられ、体が十分目覚めないまま不調の状態が出動、登校してしまいます。エンジンが温まらないのに、いきなりフル回転するようなものですから、気分のいいはずがありません。

体調をととのえ、事故防止のためにも、エンジンの始動は早くから始めておきましょう。

(1) 伸びの次に膝をかかえて横向きになる

眠い目をこすりながら、大きく伸びをすることは誰もがします。そこで、力を抜かないで続けて膝を強く抱き、その姿勢のまま、左向きになってから、天井を向いて力を抜いて足を伸ばしましょう。

(2) 大きい大の字になる

両手を横に伸ばしたまま、足を開いて大の字姿勢になります。少しずつ足の開きを大きくして、またが痛いぐらいまで伸ばすようにします。できる人は手で腰を支えて足を前後に開くようにすれば、胃の調子もよくなります。

(3) 腰のひねり

片足を立て膝にして、反対足をその上にのせます。そのままの姿勢で、ゆっくり内側、外側に膝をできるだけふとんに付くように倒しましょう。

(4) ひじで顔をささむ

ふとんに横になったまま、首の後ろで指を組み、両ひじで顔をささむようにして軽く叩きましょう。

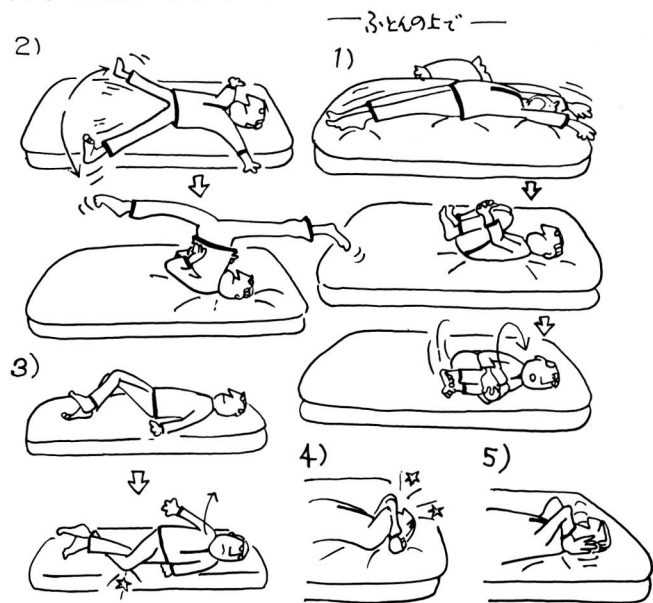
(5) 顔と首をこする

皮膚をこすり合わせることは健康上、美容上にもよいことは古くから知られているので、高齢者、女性は毎日、顔はもれなくとくに首すじを温かくなるまで手の平でこするようによしましう。

このうち少くとも二つ以上はする事です。起きぬけの一分でも二分でも「目覚ましトリム」は有効です。

あなたは、何時何分にセットしますか？

(I) 目覚ましトリム



健康維持の豆知識 (その一)

(その一)

今月から「福祉の豆知識」に代り「健康維持の豆知識」を紹介することになりました。みなさん、健康を維持するため「こんなことが知りたい」「こんな場合はどうしたらよいのか」など、質問がありましたら、民生課、福祉係までお手紙をお寄せください。この紙面を借り、お話ししたいと思います。

まず、今日は「姿勢」をテーマにしてお話します。

◇悪い姿勢と疲労は悪循環する

機械化の進んだ現代では、生活が能率的で楽であればよいという事に陥りやすいため、からだ全体をまめに動かす工夫が大切です。不自然な姿勢や部分的な疲労の蓄積こそ、悪い姿勢をつくり、生活行動を苦痛にしているのです。

◇悪い姿勢は疲労を促進させる

① 不要な部分に力が入る
② 重心が不安定になる
③ 近眼となり眼精疲労を起す
④ 肩こり・四十肩・頭痛・神経痛・腰痛の原因となる
⑤ 内臓を圧迫し、便秘・胃腸病となる

◇運動機能の老化を早める

◇過労は悪い姿勢を助長させる

① 正しい条件反射がくずれる
② あごを出し、肩が前に落ちねこ背になり、腹が出る
③ 眼の疲労は脳疲労を起す
④ ほおづえをつき、物に寄りかかる

以上のように、悪い姿勢と疲労は悪循環を起すのです。

◇腰かけの姿勢

正しい腰かけ姿勢は、疲労を軽くし、脊柱のわん曲を予防します。足の位置を変えたり、かかとを上下に動かしたりしないう。姿勢を正しくすることは乳幼児期から学童期にかけては骨の急速な発達もあり大切ですが、大人になり、老人になっても正しい姿勢をするよう心掛けましょう。一日一回、戸外での深呼吸もよいことです。

あなたの姿勢は、あなた自身には見えませんが、日常の姿勢をあなた自身でチェックすることが、よい姿勢づくりには重要です。立ち方や歩き方、腰かけ方など、正しい姿勢をマスターしましょう。

戸籍の窓

55・2・1〜2・29

(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
相生町	二木 梨沙	得夫 長女
舟山町	多藝 尊元	忠勝 長男
旭町	齋藤 賢治	英之 長男
堺町	原田 浩子	喬夫 長女
川坂	小澤 絵理	義幸 長女
四十九町	服部 篤宏	充昭 二男
宮町	松下 博記	竹男 長男
ク	澤添 守	茂樹 長男
大楽窪	宇佐美美奈	芳隆 長女

一里塚



プロ野球のオープン戦、大相撲春場所、選抜高校野球大会と、春の始動はスポーツからのようだ。そして、スポーツに対する意識も、観る楽しみから、自分自身が参加する楽しみ変ってきた。テニスしかり、マラソンしかりである。これは、食生活の質・量の向上、交通機関の発達、機械化の進行による仕事量の軽減などにより、運動不足、体力の減退を感じるよ

うになってきたことと、特に女性ならば、もつとスマートになろうとか、美容のための要素も含まれるからであろう。青梅マラソンなどの市民マラソン大会に、一般参加者が年々増加していることからわかる。

しかし、人間の心理というものは、何かスポーツを始めると、自己の体力の限界もわきまえずに、すぐその分野でのトッププレイヤーになったつもりになるから始末が悪い。私の父なども先日ランニングシューズなどを買って求め、早朝マラソンを始めた。初日のい

でたちは、私のひいき目ではあるが、日本のトップランナーの宗兄弟にも劣らないほど、さまになっていると思つたのだが、この名ランナーも、この日たった一日で、熱を出しあえなくダウンしてしまつたのだ。今では、あの宗兄弟と健脚を競うはずのランニングシューズも、ホコリをかぶり、わが家の下駄箱に眠っている。

世の自称スポーツマン・ウーマンのみなさん、私の父の体験も参考に、自己の体力を認識し、余暇を楽しくスポーツで過ごそうではないか。

かなしみ

区名	氏名	年齢
旭町	齋藤 イノ	八〇
ク	竹島 樹雄	五三



富士川町にもある「左富士の名所」

去る日、老人会の伊豆戸田旅行の帰路、富士市の旧東海道依田橋を通つた時に「左富士の名所」という石碑が建っていました。それで思い出したのが、伊東の有名な佐藤十雨先生の「富士川にかかる車窓右ありし富士左となり、やがて見えずなりけり、右の富士左となりて別れけり」という歌です。しかし、その付近は現在市街化され、家が建ちならび、富士山は見えませんでした。

そこで、現代版の「左富士の名所」が、わが町「富士川町」に移つたと思ひました。みなさんも東海道下り線で、幸町付近（蒲原町境）を通過する時は、気を付けて左側の車窓より「麗峰富士」を見てください。

編集後記

相生町 木田定蔵

2月25日、木島・松野地区に、久しぶりに雪が積つた。この日、子どもたちは一日じゅう雪遊びに興じていたが、私の記憶にある、子どもの頃の雪の白さとは少し違ふのだ。

街に降る雪なんか、汚れてあたりまえと言うが、誰が汚したんだ

文協俳句部



宮町 増井 冬木
少年の日がそこに在り青き踏む
焔塞いで過ぎし齡(よはい)も捨て
にけり 大北町 天野 たま
立春の朝日仏間に入れにけり
降る雪や亡き母に継ぐ夕の経
南町 法月 幸子
藪騒の旧道昏し冬椿
現し世に匂ふ白梅開山忌
南町 影島 智子
風花のよくつく野良着紺木綿
枝打ちに加わり筋(こたま)殖すな
り 南町 木伏 八子
啓蟄や人のそしりに雨けぶる
友を得て時を忘れし春炬燵
南町 望月 洋子
立春の土にやさしき雨の音
洋蘭の花に冬日のあまねしや
南町 田辺つぎ子
山葵田の水の蒼さよ日脚伸ぶ
船上デパートのタラップ高し雁渡
る 旭町 笠井みち子
鷹たけし女人の点前や冬日影
寒の底わび茶の奥を辿うかな
南町 宇佐美幸子
風邪繁殖して夫の客通す
疲れての言葉荒れたる寒夜かな
清水町 宇佐美裕子
ラジオただ喋り続けて風邪ごちち
枯るる中来て睦むなり恩師の辺